平成17年3月期

個別中間財務諸表の概要

平成16年11月25日

東

上場会社名 株式会社 小 林 洋 行 上場取引所

コード番号 8 7 4 2 本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.kobayashiyoko.com)

者 役職名 代表取締役社長 氏名 清覚秀雄

取締役財務本部長 氏名 宮崎誠二 問合せ先責任者 役職名 TEL (03)3669-3993

兼経理部長

決算取締役会開催日 平成16年11月25日 中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成-年-月-日 単元株制度採用の有無 有(1単元 100株)

1.平成16年9月中間期の業績(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(1)経営成績 (百万円未満は切捨)

	営業収益	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年9月中間期	5,800 (16.9)	1,755 (43.3)	1,854 (41.9)
15年9月中間期	6,982 (43.7)	3,095 (143.0)	3,194 (133.2)
16年3月期	12,803 (35.3)	5,199 (125.9)	5,330 (120.6)

	中間(当期)純利益	1 株当たり中間 (当期)純利益
	百万円 %	円 銭
16年9月中間期	1,117 (37.2)	114 12
15年9月中間期	1,781 (121.4)	181 86
16年3月期	2,214 (79.9)	223 05

(注) 期中平均株式数 16年9月中間期 9,794,446株 15年9月中間期 9,794,446株 16年3月期 9,794,446株

会計処理の方法の変更無

営業収益、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1 株当たり 中間配当金		1 株当たり 年間配当金	
	円	銭	円	銭
16年9月中間期	0	00		
15年9月中間期	0	00		
16年3月期			30	00

(3)財政状態

	総資産株主資本		株主資本比率	1 株当たり株主資本				
	百万円	百万円	%	円	銭			
16年9月中間期	30,932	15,035	48.6	1,535	07			
15年9月中間期	30,664	13,614	44.4	1,390	05			
16年3月期	30,041	14,274	47.5	1,454	36			

(注) 期末発行済株式数 16年9月中間期 9,794,446株 15年9月中間期 9,794,446株 16年3月期 9,794,446株 期末自己株式数 16年 9 月中間期 198株 15年 9 月中間期 198株 16年3月期 198株

2. 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

		経常利益	当期純利益	1 株	当たり	年間配当金	
	吕耒収益	紅币利益	当期代利益	期末			
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
通期	9,403	2,044	1,212	25	00	25	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 120円71銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本 資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果とな る可能性があります。

8.個別中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

			間会計期間末 15年 9 月30日)			間会計期間末 16年 9 月30日)			医の要約貸借対 16年 3 月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)										
流動資産										
1.現金及び預金	2	11,030,784			12,743,998			12,315,885		
2 . 委託者未収金	3	527,749			547,696			523,523		
3 . 売掛金		3,510			115			262,496		
4 . 有価証券	2	423,123			-			295,152		
5 . 商品		40,861			43,259			46,247		
6 . 保管有価証券	2	1,382,463			1,523,848			1,192,730		
7.委託者先物取引差 金	5	2,958,939			2,258,956			2,382,880		
8 . 差入保証金		1,139,170			1,479,886			1,037,573		
9 . 繰延税金資産		231,909			198,720			245,322		
10 . その他	4,8	1,644,431			1,474,204			1,698,413		
11.貸倒引当金	3	19,042			46,763			27,592		
流動資産合計			19,363,902	63.1		20,223,922	65.4		19,972,635	66.5
固定資産										
1 . 有形固定資産										
(1) 建物	1,2	1,113,369			599,173			670,013		
(2) 土地	2	1,998,634			386,155			449,624		
(3) その他	1	135,926			233,507			146,107		
有形固定資産合計		3,247,930			1,218,835			1,265,744		
2 . 無形固定資産		174,182			122,127			117,795		
3 . 投資その他の資産										
(1) 投資有価証券	2	2,563,701			2,856,004			2,956,450		
(2) 関係会社株式	2	2,574,584			2,714,584			2,714,584		
(3)長期差入保証金		530,598			1,020,107			1,122,334		
(4) 繰延税金資産		519,432			414,067			381,928		
(5) その他	1	1,704,842			2,379,040			1,524,040		
(6)貸倒引当金		14,350			15,900			14,200		
投資その他の資産合 計		7,878,808			9,367,904			8,685,138		
固定資産合計			11,300,922	36.9		10,708,868	34.6		10,068,678	33.5
資産合計			30,664,824	100.0		30,932,790	100.0		30,041,314	100.0
				ĺ			1			i l

			間会計期間末 15年 9 月30日)		当中 (平成	間会計期間末 16年 9 月30日)			更の要約貸借対 16年 3 月31日)	照表
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)										
流動負債										
1 . 委託者未払金		434,695			569,206			657,765		
2 . 買掛金		-			34			54		
3.短期借入金	2	333,600			588,000			225,600		
4 . 1 年以内償還予定 の社債		600,000			500,000			600,000		
5 . 未払法人税等		1,423,588			732,514			1,318,410		
6.預り委託証拠金		9,705,846			9,299,077			8,518,886		
7 . 預り委託証拠金代 用有価証券		1,382,463			1,514,318			1,192,730		
8 . 外国為替証拠金取 引引当金		-			30,777			30,777		
9 . その他	8	902,516			858,001			868,263		
流動負債合計			14,782,710	48.2		14,091,930	45.6		13,412,488	44.6
固定負債										
1.社債		500,000			-			500,000		
2.退職給付引当金		113,544			110,175			178,694		
3.役員退職慰労引当 金 金		555,257			595,989			575,464		
4.外国為替証拠金取 引引当金		6,751			2,320			2,320		
5 . その他		544			1,680			1,680		
固定負債合計			1,176,097	3.8		710,166	2.3		1,258,160	4.2
特別法上の準備金										
1 . 商品取引責任準備 金	4	1,091,230			1,095,548			1,096,037		
特別法上の準備金合 計			1,091,230	3.6		1,095,548	3.5		1,096,037	3.7
負債合計			17,050,038	55.6		15,897,645	51.4		15,766,685	52.5
(資本の部)										
資本金			1,620,000	5.3		1,620,000	5.2		1,620,000	5.4
資本剰余金										
1.資本準備金		697,445			697,445			697,445		
資本剰余金合計			697,445	2.3		697,445	2.3		697,445	2.3
利益剰余金		200 205			200 225			200 225		
1.利益準備金2.任意積立金		360,000 8,515,104			360,000 10,512,083			360,000 8,515,104		
2.任息積立金 3.中間(当期)未処										
分利益		2,051,574			1,281,984			2,485,023		
利益剰余金合計			10,926,678	35.6		12,154,068	39.3		11,360,127	37.8
その他有価証券評価 差額金			371,007	1.2		563,977	1.8		597,401	2.0
自己株式			345	0.0		345	0.0		345	0.0
資本合計			13,614,786	44.4		15,035,145	48.6		14,274,628	47.5
負債・資本合計			30,664,824	100.0		30,932,790	100.0		30,041,314	100.0

(2) 中間損益計算書

		前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)		当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)			前事業年度の要約損益計算書 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)		3	
区分	注記 番号	金額(千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
営業収益										
1.受取手数料		6,045,274			4,104,995			10,497,771		
2 . 売買損益		931,762			1,697,535			2,296,663		
3 . その他		5,035	6,982,072	100.0	2,138	5,800,392	100.0	8,904	12,803,339	100.0
営業費用			3,886,753	55.7		4,044,502	69.7		7,603,766	59.4
営業利益			3,095,318	44.3		1,755,889	30.3		5,199,572	40.6
営業外収益	1		126,256	1.8		126,451	2.2		164,751	1.3
営業外費用	2		26,619	0.4		27,635	0.5		33,830	0.3
経常利益			3,194,955	45.7		1,854,705	32.0		5,330,493	41.6
特別利益			982	0.0		35,315	0.6		614	0.0
特別損失										
1.商品取引責任準備 金繰入額		154,787			-			159,593		
2 . その他	3	1,316	156,103	2.2	9,111	9,111	0.2	1,324,077	1,483,670	11.6
税引前中間(当 期)純利益			3,039,833	43.5		1,880,909	32.4		3,847,436	30.0
法人税、住民税及 び事業税		1,418,493			725,733			1,823,939		
法人税等調整額		159,865	1,258,628	18.0	37,402	763,135	13.1	191,157	1,632,782	12.7
中間(当期)純利 益			1,781,205	25.5		1,117,773	19.3		2,214,654	17.3
前期繰越利益			270,369			164,211			270,369	
中間(当期)未処 分利益			2,051,574			1,281,984			2,485,023	

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1.資産の評価基準及び評価	(1)有価証券	(1) 有価証券	(1)有価証券
方法	満期保有目的債券	満期保有目的債券	満期保有目的債券
	償却原価法(定額法)	同 左	同 左
	子会社株式及び関連会社株式	子会社株式及び関連会社株式	子会社株式及び関連会社株式
	移動平均法による原価法	同 左	同 左
	その他有価証券	その他有価証券	その他有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの	時価のあるもの
	中間決算日の市場価格等	同 左	期末日の市場価格等に基
	に基づく時価法(評価差額		づく時価法(評価差額は全
	は全部資本直入法により処		部資本直入法により処理
	理し、売却原価は移動平均		し、売却原価は移動平均法
	法により算定)		により算定)
	時価のないもの	時価のないもの	時価のないもの
	移動平均法による原価法	同 左	同 左
	なお、保管有価証券は商品取	同 左	同 左
	引所法施行規則第7条の規定に		
	より商品取引所が定めた充用価		
	格によっており、主な有価証券		
	の価格は次のとおりでありま		
	す。		
	利付国債証券(7%未満)		
	額面金額の80%		
	社債(上場銘柄)		
	額面金額の65%		
	株券(一部上場銘柄)		
	時価の70%相当額		
	倉荷証券		
	時価の70%相当額		
	(2) デリバティブ	(2) デリバティブ	(2) デリバティブ
	時価法	同 左	同 左
	(3) たな卸資産	(3) たな卸資産	(3) たな卸資産
	商品	商品	商品
	移動平均法による原価法に	同 左	同 左
	よっております。		

項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
2 . 固定資産の減価償却の方 法	(1)有形固定資産 定率法(ただし、平成10年4	(1) 有形固定資産	(1) 有形固定資産
74	月1日以降に取得した建物(附	13 ±	13 4
	属設備を除く)については、定		
	額法)を採用しております。		
	おお、主な耐用年数は以下の		
	とおりであります。		
	建物及び構築物 5~50年 器見及び構築 3~45年		
	器具及び備品 3~15年	(2) 無形用字次章	(3) 無形田宁次辛
	(2)無形固定資産	(2) 無形固定資産	(2) 無形固定資産
	定額法を採用しております。	同 左	同 左
	なお、自社利用のソフトウェ		
	アについては、社内における利		
	用可能期間(5年)に基づいて		
	ト おります。 -		
		(3)投資不動産	
		定率法(ただし、建物(附属	
		設備を除く)は定額法)を採用	
2 334000114#	ルン袋がコルム	しております。	(4) 梯河口以入
3 . 引当金の計上基準 	(1)貸倒引当金	(1) 貸倒引当金	(1) 貸倒引当金
	売上債権、貸付金等の貸倒損	同 左 	同 左
	失に備えるため、一般債権につ		
	いては貸倒実績率により、貸倒		
	懸念債権等特定の債権について		
	は個別に回収可能性を検討し、		
	回収不能見込額を計上しており		
	ます。	(a) 세명병부학배수때리리포수	(a) N 당속#학생수찌리리보수
	(2) 外国為替証拠金取引引当金	(2) 外国為替証拠金取引引当金	(2) 外国為替証拠金取引引当金
	当社は、従来外国為替証拠金	外国為替証拠金取引に関し、	同 左
	取引に係るイントロデューシン	顧客7名による共同訴訟が提訴	
	グ・ブローカー(以下「IB」	されておりましたが、裁判所に	
	という。)業務を行ってきたと	より具体的金額を示した和解案	
	ころ、外国為替運用会社が資金	が提示され、且つこの案の考え	
	的に逼迫してきたため I B 契約	方に沿った判決となる可能性が	
	を解除致しましたが、その後当	高いため当該金額を(流動負	
	該会社が顧客からの証拠金等の	債)、また同取引の仲介業務に (5.3.4 同2 株 第四人 社 研究 に	
	支払要求に応じることが困難な	係る外国為替運用会社破綻によ	
	状況になったため、顧客からは	り生じた顧客の損失に対し、当	
	当該取引の仲介を行った当社に	社の道義的責任から裁判所の調	
	支払を求めてきております。当	停金額を基に当社負担見込額を	
	社は仲介業務を行った道義的責	(固定負債)それぞれ計上して	
	任から、裁判所における調停金	おります。 	
	額を基に当社負担見込額を計上 		
	しております。		

項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
	(3) 退職給付引当金	(3) 退職給付引当金	(3) 退職給付引当金
	従業員の退職給付に備えるた	同 左	従業員の退職給付に備えるた
	め、当事業年度末における退職		め、当事業年度末における退職
	給付債務及び年金資産の見込額		給付債務及び年金資産の見込額
	に基づき、当中間会計期間末に		に基づき計上しております。
	おいて発生していると認められ		数理計算上の差異は、各事業
	る額を計上しております。		年度の発生時における従業員の
	数理計算上の差異は、各事業		平均残存勤務期間以内の一定の
	年度の発生時における従業員の		年数(5年)による定額法によ
	平均残存勤務期間以内の一定の		り按分した額をそれぞれ発生の
	年数 (5年)による定額法によ		翌事業年度から費用処理するこ
	り按分した額をそれぞれ発生の		ととしております。
	翌事業年度から費用処理するこ		
	ととしております。		
	(4) 役員退職慰労引当金	(4) 役員退職慰労引当金	(4) 役員退職慰労引当金
	役員の退職慰労金の支出に備	同 左	役員の退職慰労金の支出に備
	えるため、役員退職慰労金規程		えるため、役員退職慰労金規程
	に基づく中間期末要支給額を計		に基づく期末要支給額を計上し
	上しております。		ております。
	(5) 商品取引責任準備金	(5) 商品取引責任準備金	(5) 商品取引責任準備金
	商品先物取引事故による損失	同 左	同 左
	に備えるため、商品取引所法第		
	136条の22の規定に基づき、同法		
	施行規則に定める額を計上して		
	おります。		
4.外貨建の資産及び負債の	外貨建金銭債権債務は、中間決	同 左	外貨建金銭債権債務は、期末日
本邦通貨への換算基準	算日の直物為替相場により円貨に		の直物為替相場により円貨に換算
	換算し、換算差額は損益として処		し、換算差額は損益として処理し
	理しております。		ております。
5.リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移	同 左	同 左
	転すると認められるもの以外のフ		
	ァイナンス・リース取引について		
	は、通常の賃貸借取引に係る方法		
	に準じた会計処理によっておりま		
	す。		
6.その他中間財務諸表(財	消費税等の会計処理	消費税等の会計処理	消費税等の会計処理
務諸表)作成のための基本	税抜方式を採用しております。	同左	同 左
となる重要な事項			

表示方法の変更

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年9月1日 至 平成16年9月30日)
	(中間貸借対照表)
	固定資産の一部を賃貸物件として運用しているため、
	投資その他の資産の「その他」(当中間617,927千円)に
	含めて表示することにしました。
	なお、前中間会計期間までは、未賃貸物件であったた
	め、有形固定資産の「建物」に72,590千円及び「土地」
	に63,469千円を含めて計上しております。

追加情報

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
	(外形標準課税)	財務の健全化を目的として、本社土地建物
	「地方税法等の一部を改正する法律」(平成	を連結子会社㈱フジトミに譲渡致しました。
	15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布さ	なお、引続き同社より賃借しております。
	れ、平成16年4月1日以後に開始する事業年度	
	より外形標準課税制度が導入されたことに伴	
	い、当中間会計期間から「法人事業税におけ	
	る外形標準課税部分の損益計算書上の表示に	
	ついての実務上の取扱い」(平成16年2月13日	
	企業会計基準委員会実務対応報告第12号)に	
	従い法人事業税の付加価値割及び資本割につ	
	いては、営業費用に計上しております。	
	この結果、営業費用が16,661千円増加し、	
	営業利益、経常利益及び税前中間純利益が	
	16,661千円減少しております。	

注記事項

(中間貸借対照表関係)

前中間会計期間末 (平成15年9月30日)	当中間会計期間末 (平成16年9月30日)	前事業年度末 (平成16年3月31日)
1 . 有形固定資産の減価償却累計	1 . 有形固定資産の減価償却累計	1 . 有形固定資産の減価償却累計
額	額	額
791,792千円	379,308千円	375,080千円
	投資不動産の減価償却累計額	
	8,065千円	
2.担保に供している資産及び対	2.担保に供している資産及び対	2.担保に供している資産及び対
応する債務の内訳は次のとおり	応する債務の内訳は次のとおり	応する債務の内訳は次のとおり
であります。	であります。	であります。
イ.担保資産	イ.担保資産	イ.担保資産
(担保資産の内訳)	(担保資産の内訳)	(担保資産の内訳)
現金及び預金 2,690,000千円	現金及び預金 3,448,000千円	現金及び預金 3,448,000千円
建物 663,682	建物 214,505	建物 220,060
土地 1,592,505	土地 43,496	土地 43,496
合計 4,946,188	合計 3,706,001	合計 3,711,556
(対応する債務の内訳)	(対応する債務の内訳)	(対応する債務の内訳)
短期借入金 333,600千円	短期借入金 588,000千円	短期借入金 225,600千円
商品取引所法	商品取引所法	商品取引所法
第97条の2第	第97条の 2 第	第97条の 2 第
3項の規定に	3項の規定に	3項の規定に
基づく銀行等 1,900,000	基づく銀行等 2,400,000	基づく銀行等 2,400,000
による保証に	による保証に	による保証に
対する求償債	対する求償債	対する求償債
務	務	務
商品取引所法	商品取引所法	商品取引所法
施行規則第43	施行規則第43	施行規則第43
条第1項第4 1,000,000	条第1項第4	条第1項第4 1,000,000
号に基づく銀 1,000,000	号に基づく銀 1,000,000	号に基づく銀 1,000,000
行による契約	行による契約	行による契約
弁済保証額	弁済保証額	弁済保証額
合計 3,233,600	合計 3,988,000	合計 3,625,600

前中間会計期間末(平成15年9月30日)

口.預託資産

商品取引所法等関係法令、取 引所定款等により預託すべき取 引証拠金及び受託業務保証金の 代用として商品取引所に預託し ている資産は、次のとおりであ ります。

有価証券 423,123千円 保管有価証券 1,299,313 投資有価証券 1,408,439 関係会社株式 809,624 合計 3,940,500

八.分離保管資産

商品取引所法第136条の15の規定に基づき所定の金融機関に分離保管されている資産の内訳は次のとおりであります。

現金及び預金 3,910,000千円 保管有価証券 11,201

合計

3,921,201

また、商品取引所法施行規則 第43条第1項第4号に基づく、 銀行による契約弁済保証額は、 1,000,000千円であります。

なお、同法施行規則第41条第 1項に基づく当社が所定の金融 機関に預託して分離保管しなけ ればならない資産の金額は 2,748,423千円であります。

- 3. 委託者未収金のうち無担保委 託者未収金はありません。
- 4.商品取引責任準備金は商品取引所法第136条の22の規定に基づくものであります。なお、日本商品先物取引協会の定款に基づき、この積立額に相当する額の現金を商品取引責任準備預託金として日本商品先物取引協会に預託しており、これを流動資産の「その他」に含めて表示しております。

当中間会計期間末(平成16年9月30日)

口.預託資産

商品取引所法等関係法令、取 引所定款等により預託すべき取 引証拠金及び受託業務保証金の 代用として商品取引所に預託し ている資産は、次のとおりであ ります。

保管有価証券 1,486,839千円 投資有価証券 1,313,590 関係会社株式 809,624

合計 3,610,053

また、投資有価証券162,168千円を商社に営業保証金として差入れております。

八.分離保管資産

商品取引所法第136条の15の規定に基づき所定の金融機関に分離保管されている資産の内訳は次のとおりであります。

現金及び預金 4,210,000千円 保管有価証券 16,048

合計

4,226,048

また、商品取引所法施行規則 第43条第1項第4号に基づく、 銀行による契約弁済保証額は、 1,000,000千円であります。

なお、同法施行規則第41条第 1項に基づく当社が所定の金融 機関に預託して分離保管しなけ ればならない資産の金額は 3,737,906千円であります。

- 3.委託者未収金のうち無担保委託者未収金は34,189千円であり、当該無担保委託者未収金に対し全額貸倒引当金を設定しております。
- 4. 同 左

前事業年度末 (平成16年3月31日)

口.預託資産

商品取引所法等関係法令、取 引所定款等により預託すべき取 引証拠金及び受託業務保証金の 代用として商品取引所に預託し ている資産は、次のとおりであ ります。

有価証券 295,152千円 保管有価証券 1,089,399 投資有価証券 1,432,593 関係会社株式 809,624

合計

3,626,768

また、投資有価証券168,682千円を商社に営業保証金として差入れております。

八.分離保管資産

商品取引所法第136条の15の規定に基づき所定の金融機関に分離保管されている資産の内訳は次のとおりであります。

現金及び預金 3,910,000千円 保管有価証券 66,695

合計

3,976,695

また、商品取引所法施行規則 第43条第1項第4号に基づく、 銀行による契約弁済保証額は、 1,000,000千円であります。

なお、同法施行規則第41条第 1項に基づく当社が所定の金融 機関に預託して分離保管しなけ ればならない資産の金額は 2,976,542千円であります。

- 3.委託者未収金のうち無担保委 託者未収金は7,052千円であり、 当該無担保委託者未収金に対し 全額貸倒引当金を設定しており ます。
- 4. 同 左

前中間会計期間末 (平成15年9月30日)	当中間会計期間末 (平成16年 9 月30日)	前事業年度末 (平成16年3月31日)
5.委託者の未決済玉を決済したと仮定して計算した委託者の売	5. 同 左	5. 同 左
買損相当額を、委託者に代わっ		
て取引所に立替払いした金額で		
あります。この金額は、すべて の委託者の各商品取引所の商品		
ごとに差損益金を算定したうえ		
で、各商品取引所ごとに合計し		
て算出したものであります。		
6 . 保証債務	6 . 保証債務	6 . 保証債務
関係会社及び従業員の銀行借	関係会社及び従業員の銀行借	関係会社及び従業員の銀行借
入に対して、債務保証をしてお	入に対して、債務保証をしてお	入に対して、債務保証をしてお
ります。 保証先 保証金額	ります。 保証先 保証金額	ります。 保証先 保証金額
(株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (450,000千円	(株)共和トラスト 450,000千円	(株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)
従業員 2,160千円	従業員 1,559千円	従業員 1,863千円
また、下記の会社が商品取引	また、下記の会社が商品取引	また、下記の会社が商品取引
所等へ保証預託として差入れて	所等へ保証預託として差入れて	所等へ保証預託として差入れて
いる金融機関よりの信用状に対	いる金融機関よりの信用状に対	いる金融機関よりの信用状に対
して、保証を行っております。 KOBAYASHI YOKO SINGAPORE	して、保証を行っております。 KOBAYASHI YOKO SINGAPORE	して、保証を行っております。 KOBAYASHI YOKO SINGAPORE
PTE LTD	PTE LTD	PTE LTD
650千シンガポールドル	650千シンガポールドル	650千シンガポールドル
41,908千円	42,678千円	40,878千円
7. 当社は、運転資金の効率的な	7 . 当社は、運転資金の効率的な	7 . 当社は、運転資金の効率的な
調達を行うため取引銀行3行と	調達を行うため取引銀行3行と	調達を行うため取引銀行3行と
当座貸越契約を締結しておりま	当座貸越契約及び取引銀行2行	当座貸越契約及び取引銀行2行
す。これらの契約に基づく当中 間会計期間末の借入未実行残高	と貸出コミットメント契約を締 結しております。これらの契約	と貸出コミットメント契約を締 結しております。これらの契約
同去計期间本の旧八木美11残同 は次のとおりであります。	に基づく当中間会計期間末の借	に基づく当事業年度末の借入未
	入未実行残高は次のとおりであ	実行残高は次のとおりでありま
	ります。	す。
当座貸越極度 3,270,000千円	当座貸越極度	当座貸越極度
A	額及び貸出コ 5,400,000千円	額及び貸出コ 5,400,000千円
借入実行残高	ミットメント	ミットメント の総額
差引額 3,270,000	の総額 借入実行残高 -	の総領 借入実行残高 -
	差引額 5,400,000	差引額 5,400,000
8.消費税等の取扱い	8.消費税等の取扱い	8 .
仮払消費税等及び仮受消費税	仮払消費税等及び仮受消費税	
等は、相殺のうえ、金額的重要	等は、相殺のうえ、金額的重要	
性が乏しいため、流動負債の	性が乏しいため、流動資産の	
「その他」に含めて表示してお	「その他」に含めて表示してお います	

ります。

ります。

(中間損益計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1. 営業外収益のうち主要なものは	1.営業外収益のうち主要なものは	1 . 営業外収益のうち主要なもの
次のとおりであります。	次のとおりであります。	は次のとおりであります。
受取利息 5,948千円	受取利息 8,646千円	受取利息 9,620千円
有価証券利息 3,457千円	有価証券利息 5,587千円	有価証券利息 8,987千円
受取配当金 99,123千円	受取配当金 93,059千円	受取配当金 101,546千円
2 . 営業外費用のうち主要なものは	2 . 営業外費用のうち主要なものは	2 . 営業外費用のうち主要なもの
次のとおりであります。	次のとおりであります。	は次のとおりであります。
支払利息 12,408千円	支払利息 8,851千円	支払利息 21,340千円
社債利息 6,245千円	社債利息 6,245千円	社債利息 12,490千円
3 . 特別損失「その他」のうち主要 なものは次のとおりであります。	3 . 特別損失「その他」のうち主要 なものは次のとおりであります。	3 . 特別損失「その他」のうち主 要なものは次のとおりでありま す。
固定資産除却損 22千円	固定資産除却損 1,735千円	固定資産売却損1,249,314千円
ゴルフ会員権売 却損 却損	ゴルフ会員権売 却損 却損	
4.減価償却実施額	4 . 減価償却実施額	4.減価償却実施額
有形固定資產 49,098千円	有形固定資產 39,225千円	有形固定資產 73,946千円
無形固定資產 26,800千円	無形固定資産 27,932千円	無形固定資產 53,118千円
·	投資その他の資 2,110千円	
	<u>産</u>	

リース取引

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び中間期 末残高相当額

	取得価額相当額(千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	中間期末 残高相当 額 (千円)
(有形固 定資産) その他	30,594	25,170	5,424
無形固定資産	2,102	2,032	70
合計	32,697	27,202	5,494

- (注) 取得価額相当額は、未経過 リース料中間期末残高が有 形固定資産の中間期末残高 等に占める割合が低いた め、支払利子込み法により 算定しております。
- 2 . 未経過リース料中間期末残高相 当額

1 年内	2,764千円
1 年超	2,730
合計	5,494

- (注) 未経過リース料中間期末残 高相当額は、未経過リース 料中間期末残高が有形固定 資産の中間期末残高等に占 める割合が低いため、支払 利子込み法により算定して おります。
- 3.支払リース料及び減価償却費相 当額

支払リース料 2,832千円 減価償却費相当額 2,832千円

- 4.減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残 存価額を零とする定額法によって おります。
- 5. オペレーティング・リース取引 未経過リース料

1年内	1,236千円
1年超	927
合計	2,163

当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び中間期 末残高相当額

	取得価額相当額(千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	中間期末 残高相当 額 (千円)
(有形固 定資産) その他	19,284	13,357	5,926
無形固 定資産	24,156	4,831	19,324
合計	43,440	18,188	25,251

同 左

 未経過リース料中間期末残高相 当額

1 年内	7,814十円
1 年超	17,906
合計	25,720
同	左

3.支払リース料及び減価償却費相 当額

支払リース料 3,907千円 減価償却費相当額 3,907千円

- 4.減価償却費相当額の算定方法 同 左
- 5. オペレーティング・リース取引 未経過リース料

1 年内	2,383千円
1 年超	2,670
合計	5,054

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

 リース物件の取得価額相当額、 減価償却累計額相当額及び期末残 高相当額

	取得価額相当額(千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
(有形固 定資産) その他	19,284	11,865	7,418
無形固 定資産	24,156	2,415	21,740
合計	43,440	14,281	29,158

- (注) 取得価額相当額は、未経過 リース料期末残高が有形固 定資産の期末残高等に占め る割合が低いため、支払利 子込み法により算定してお ります。
- 2. 未経過リース料期末残高相当額

1 年内	7,814千円
1 年超	21,813
	20 628

- (注) 未経過リース料期末残高相 当額は、未経過リース料期 末残高が有形固定資産の期 末残高等に占める割合が低 いため、支払利子込み法に より算定しております。
- 3 . 支払リース料及び減価償却費相 当額

支払リース料6,851千円減価償却費相当額7,320千円

4.減価償却費相当額の算定方法 同 左

5. オペレーティング・リース取引 未経過リース料

1 年内	1,236千円
1 年超	309
合計	1,545

有価証券

前中間会計期間末(平成15年9月30日現在)

有価証券

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

	中間貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)	
子会社株式	809,624	3,091,284	2,281,660	
関連会社株式	-	-	-	

当中間会計期間末(平成16年9月30日現在)

有価証券

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

	中間貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
子会社株式	809,624	3,624,264	2,814,640
関連会社株式	-	-	-

前事業年度(平成16年3月31日現在)

有価証券

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

	貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)	
子会社株式	809,624	4,192,776	3,383,152	
関連会社株式	-	-	-	

(1株当たり情報)

前中間会計期間	当中間会計期間	前事業年度		
(自 平成15年4月1日	(自 平成16年4月1日	(自 平成15年4月1日		
至 平成15年9月30日)	至 平成16年9月30日)	至 平成16年3月31日)		
1 株当たり純資産額 1,390円05銭	1 株当たり純資産額 1,535円07銭	1 株当たり純資産額 1,454円36銭		
1 株当たり中間純利益	1 株当たり中間純利益	1 株当たり当期純利益		
金額 181円86銭	金額 114円12銭	金額 223円05銭		
なお、潜在株式調整後1株当たり	なお、潜在株式調整後1株当たり	なお、潜在株式調整後1株当たり		
中間純利益金額については、潜在株	中間純利益金額については、潜在株	当期純利益金額については、潜在株		
式がないため記載しておりません。	式がないため記載しておりません。	式がないため記載しておりません。		

(注) 1株当たり中間(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	(自 至	前中間会計期間 平成15年4月1日 平成15年9月30日)	(自至	当中間会計期間 平成16年4月1日 平成16年9月30日)	(自 至	前事業年度 平成15年4月1日 平成16年3月31日)
1株当たり中間(当期)純利益金額						
中間(当期)純利益(千円)		1,781,205		1,117,773		2,214,654
普通株主に帰属しない金額(千円)		-		-		30,000
(うち利益処分による取締役賞与金)		(-)		(-)		(30,000)
普通株式に係る中間(当期)純利益		1,781,205		1,117,773		2,184,654
(千円)		1,701,200		1,117,773		2,104,004
期中平均株式数(千株)		9,794		9,794		9,794

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他)

訴訟

当社が受託した商品先物取引に関して10件の損害賠償請求事件が現在係争中であります。これは不法行為により損害を被ったとして、当社を被告として損害賠償請求を裁判所に提訴したものであり、損害賠償請求額は3億4千9百万円であります。これに対して当社は何ら不法行為は無かったことを主張しております。

なお、結審に至るまでは相当期間を要するものと思われ、現時点では結果を予想することは困難であります。 また、従来係争中でありました外国為替証拠金取引の仲介業務に関する訴訟1件につきましては、控訴審において和解手続中(引当金3千万円を計上済)であります。

9. 営業収益の状況

(1) 受取手数料

(単位:千円)

区分	前中間会計 (自 平成15年4 至 平成15年9	月1日	当中間会計其 (自 平成16年4 至 平成16年9	月1日	前事業年月 (自 平成15年4 至 平成16年3	月1日
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
商品先物取引						
現物先物取引						
農産物市場	419,454	6.9	920,906	22.4	1,317,098	12.5
砂糖市場	3,251	0.1	2,023	0.1	8,926	0.1
繭糸市場	1,262,057	20.9	52	0.0	2,053,635	19.6
貴金属市場	1,107,314	18.3	665,881	16.2	1,615,524	15.4
アルミニウム市場	231,847	3.8	48,067	1.2	323,895	3.1
ゴム市場	362,438	6.0	16,946	0.4	457,764	4.3
石油市場	2,405,233	39.8	2,284,331	55.6	4,303,033	41.0
綿糸市場	-	-	-	-	-	-
ニッケル市場	470	0.0	2,453	0.1	2,092	0.0
小計	5,792,068	95.8	3,940,663	96.0	10,081,970	96.0
オプション取引						
農産物市場	-	-	-	-	-	-
砂糖市場	-	-	-	-	-	-
貴金属市場	-	-	165	0.0	-	-
小計	-	-	165	0.0	-	-
指数先物取引						
農産物・飼料指数市場	281	0.0	150	0.0	569	0.0
天然ゴム指数市場	12,622	0.2	17,195	0.4	47,072	0.5
小計	12,904	0.2	17,345	0.4	47,641	0.5
現金決済取引						
畜産物市場	-	-	-	-	-	-
石油市場	187,027	3.1	88,798	2.2	272,700	2.6
小計	187,027	3.1	88,798	2.2	272,700	2.6
商品先物取引計	5,992,000	99.1	4,046,972	98.6	10,402,313	99.1
外国為替証拠金取引	53,274	0.9	58,022	1.4	94,738	0.9
商品ファンド	-	-	-	-	720	0.0
合計	6,045,274	100.0	4,104,995	100.0	10,497,771	100.0

⁽注)1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

^{2.} 平成16年5月17日より、東京工業品取引所において金先物オプションが上場されております。

(2) 売買損益

(単位:千円)

			(単位:十円)
区分	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
	金額	金額	金額
商品先物取引			
現物先物取引			
農産物市場	78,267	208,825	557,468
砂糖市場	2,604	5,897	18,269
繭糸市場	225,636	1,016	331,026
貴金属市場	154,844	126,797	155,611
アルミニウム市場	22,395	14,965	12,669
ゴム市場	17,388	16,574	20,303
石油市場	664,303	1,613,748	1,369,177
綿糸市場	-	-	-
ニッケル市場	21,304	39,334	27,784
小計	685,743	1,729,804	2,455,772
オプション取引			
農産物市場	-	-	-
砂糖市場	-	-	-
貴金属市場	-	709	-
小計	-	709	-
指数先物取引			
農産物・飼料指数市場	5,313	462	5,036
天然ゴム指数市場	32,159	21,954	158,971
小計	26,846	22,416	164,007
現金決済取引			
 畜産物市場	-	-	-
石油市場	134,484	259,602	25,646
小計	134,484	259,602	25,646
商品先物取引計	847,073	1,491,909	2,266,118
	74,728	124,541	90,134
商品売買損益	13,740	32,598	118,711
外国為替証拠金取引損益	20,741	12,653	54,477
その他の売買損益	2,959	101,029	4,645
合計	931,762	1,697,535	2,296,663
	L	l	

⁽注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

^{2.} 平成16年5月17日より、東京工業品取引所において金先物オプションが上場されております。

(3) その他の営業収益

(単位:千円)

区分	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	
	金額	金額	金額	
金融収益	5,035	8,898		
純金積立管理料他	-	3	6	
合計	5,035	2,138	8,904	

⁽注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

10. 商品先物取引等の売買高

(単位:枚)

辛口士担 权	委	託	自i	2	合	it .
商品市場名	枚数	前年同期比	枚数	前年同期比	枚数	前年同期比
現物先物取引		%		%		%
農産物市場	575,164	133.2	365,252	110.8	940,416	124.0
砂糖市場	733	76.7	1,149	34.2	1,882	53.0
繭糸市場	8	100.0	14,468	93.1	14,476	97.7
貴金属市場	201,753	42.9	228,801	26.7	430,554	35.3
アルミニウム市場	18,422	77.9	17,408	75.7	35,830	76.9
ゴム市場	5,872	94.6	5,226	90.8	11,098	93.3
石油市場	810,764	6.3	1,377,645	38.9	2,188,409	27.4
綿糸市場	-	-	-	100.0	-	100.0
ニッケル市場	2,418	237.7	1,551	5.8	3,969	68.0
小計	1,615,134	18.1	2,011,500	34.7	3,626,634	28.3
オプション取引						
農産物市場	-	-	-	-	-	-
砂糖市場	-	-	-	-	-	-
貴金属市場	33	-	280	-	313	-
小計	33	-	280	-	313	-
指数先物取引						
農産物・飼料指数市場	406	71.2	114	88.7	520	78.5
天然ゴム指数市場	4,642	71.6	3,569	73.6	8,211	72.5
小計	5,048	71.6	3,683	74.7	8,731	73.0
現金決済取引						
畜産物市場	-	-	-	-	-	-
石油市場	25,816	61.6	149,226	14.0	175,042	11.7
小計	25,816	61.6	149,226	14.0	175,042	11.7
合計	1,646,031	20.0	2,164,689	32.9	3,810,720	27.9

⁽注) 1. 商品先物取引における取引の最低単位を枚と呼び、例えばガソリン1枚は100kl、金1枚は1kgというように1枚当たりの数量は商品ごとに異なります。

^{2.} 平成16年5月17日より、東京工業品取引所において金先物オプションが上場されております。

11. 商品先物取引の未決済建玉

(単位:枚)

辛□士担 权	委	託	自	 2	合	計
商品市場名	枚数	前年同期比	枚数	前年同期比	枚数	前年同期比
現物先物取引		%		%		%
農産物市場	28,582	65.3	17,926	166.5	46,508	93.6
砂糖市場	84	20.0	50	55.8	134	38.5
繭糸市場	-	100.0	1,200	62.4	1,200	95.6
貴金属市場	20,892	28.1	3,053	34.8	23,945	14.1
アルミニウム市場	2,391	59.3	871	55.4	3,262	58.3
ゴム市場	254	83.5	69	92.2	323	86.6
石油市場	17,631	36.4	10,832	87.6	28,463	15.0
綿糸市場	-	-	-	100.0	-	100.0
ニッケル市場	415	9.0	58	44.2	473	15.5
小計	70,249	24.9	34,059	44.8	104,308	10.9
オプション取引						
農産物市場	-	-	-	-	-	-
砂糖市場	-	-	-	-	-	-
貴金属市場	30	-	204	-	234	-
小計	30	-	204	-	234	-
指数先物取引						
農産物・飼料指数市場	24	68.8	4	87.1	28	74.1
天然ゴム指数市場	23	86.9	1	98.6	24	90.3
小計	47	81.4	5	95.1	52	85.4
現金決済取引						
畜産物市場	-	-	-	-	-	-
石油市場	598	69.6	1,027	21.2	1,625	50.3
小計	598	69.6	1,027	21.2	1,625	50.3
合計	70,924	26.0	35,295	41.6	106,219	12.0

⁽注) 1. 商品先物取引における取引の最低単位を枚と呼び、例えばガソリン1枚は100kl、金1枚は1kgというように 1枚当たりの数量は商品ごとに異なります。

^{2.} 平成16年5月17日より、東京工業品取引所において金先物オプションが上場されております。